

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	住宅と都市の間の空間デザイン小委員会		主 査 名：杉山茂一 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・設置目的：住宅の閉鎖化、住宅と都市の接点空間の貧困化という閉塞状態を脱するために、法制度や文化・生活規範を問い直し、住宅と都市空間の接点のあり方、多様なコモンスペースのあり方など、住宅と都市の間の空間デザインについて考える。</p> <p>・2004 年度活動：「新しいまちづくりルールの可能性」「集合住宅によるまちづくりへのかわり方」「計画的戸建住宅地におけるコモンスペース」「地区計画によるまちづくりの成果と問題」「街区レベルでの居住環境指標」をテーマに研究会 5 回。「震災復興銃環境整備事業による芦屋市若宮地区」公開見学会の主催。</p> <p>・2005 年度活動：「明舞団地マンション再生アイデアコンペ」「連担制度を活用したまちづくりの試み」「地区計画によるまちづくりの事例検討」「マンション・ディベロッパーのまちづくりへの姿勢」をテーマに研究会 4 回。京都・職住共存地区の新動向公開見学会を共催。「日本のニュータウン計画の形成と再生」公開シンポジウムを共催。</p> <p>・2006 年度計画：「住宅と都市の間の空間デザインへの視点」「マンションの規制・誘導に関する行政の取り組み」「集合住宅とまちの接点空間に関する提案事例の検討」をテーマに研究会、委員会活動の成果公表に向けた準備。研究会 5 回、公開見学会 1 回を予定。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり(2名) 杉山茂一(大阪市大) 徳尾野徹(大阪市大) 横山俊祐(大阪市大) 小浦久子(大阪大) 三谷幸司(アバンゼイター) 安枝英俊(京都大) 平山洋介(神戸大) 小林秀樹(千葉大) 森永良丙(千葉大) 斉藤広子(明海大) 初見学(東京理科大) 宇杉和夫(日大) 山本理(長谷工総合研究所) 田中友章((株)フォルムス) 野澤康(工学院大)		
設置 WG (WG 名:目的)			
2005 年度予算	343000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価	
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	(名称) 京都・職住共存地区の新動向見学	参加者数 25 名

大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 研究会、公開見学会は計画どおりに実施してきた。 2. 設置後2年で、成果のとりまとめと公表は来年度以降の課題。
委員会活動の問題点・課題	1. とくになし

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。